



学校教育目標

「ふるさと 夕張に誇りをもち  
明日を創造する生徒の育成」

発行責任者 校長 藤田祐二 編集責任者 教頭 酒井 誠

☎ 59-7340 / FAX 59-7173

## 卒業生の前途に幸多きことを祈念して

### 式 辞

長く厳しかった冬がようやく終わりを告げ、夕張の地にも希望に満ちた春の気配が感じられるようになりました。

本日ここに、保護者の皆様のご臨席を賜り、在校生が見守る中、夕張市立夕張中学校第11回卒業証書授与式を挙行できますことに、心から感謝を申し上げます。

ただ今、卒業証書を手にした33名の卒業生は、本日をもって義務教育9年間の学びを終え、それぞれが選んだ道へのスタートラインに立つこととなります。

はじめに、保護者の皆様、本日は、お子さんのご卒業、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

また、3年間、本校教育の推進に対し、ご理解とご協力をいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。

特に、この1年間は、新型コロナウイルス感染症の対応のため、通常の教育活動の実施が難しい状況の中、お子さんのストレス回避やモチベーションを高めるための激励など、たくさんのご苦勞をおかけしたと存じます。

加えて、中学校の3年間は、思春期の多感な時期であり、話しかけても返事をしない、大人との距離をこれまで以上に置くなど、子育ての難しさを少なからずお感じになってこられたものと推察いたします。

しかしながら、子供たちの反応に一喜一憂しながらも、日々注いでこられた、見返りを求めない深い愛情こそが、子育てには何よりも重要であり、間違いなく子供たちに伝わっているものと確信しています。

今後とも、ご苦勞は絶えないかと存じますが、子供たちに最も近い立場の応援団として、引き続き、陰に日向に支えていただきますよう、お願い申し上げます。

続いて、卒業証書を手にした卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

本来であれば、ご来賓の皆様にもご参列いただき、11回目の卒業式を盛大に

実施したかったところですが、最近の状況を踏まえ、式の内容を精選せざるを得なかったことについて、校長として申し訳なく思っています。

この1年を振り返りますと、4月半ばから、6週間もの期間が臨時休業となり、また、学校行事や部活動などにおいて、多くの制約を受けることになりました。

皆さんにとっては、3年間で最も大事な時期を奪われた、そのような気持ちになったと思います。

しかしながら、皆さんは、誰かを責めることなく、下を向くことなく、与えられた環境の中で全力を尽くし、更には、活動の場や機会を与えてくれたことへの感謝を言葉で表すことができる、素敵な15歳へと成長しました。

この1年間の皆さんの頑張りに、最大の賛辞を贈りたいと思います。

今日の式には残念ながら参加できなかった仲間も含め33名の皆さんは、今後も夕張中学校卒業生として様々なつながりを持ち、大人の階段を一段ずつ上っていくものと思います。

今後とも、今年一年、合言葉にしてきた「挑戦」という二文字を心に、支えてくださる方々への感謝を忘れず、前向きに歩みを進めていくことを心から期待しています。

結びに、保護者、地域の皆様に支えられながら立派に成長を遂げ、本日、在校生に見守られながら、学舎を巣立ちゆく卒業生の前途に幸多きことを祈念し、式辞といたします。

令和3年3月18日

夕張市立夕張中学校長

藤田 祐二

## 夕張中学校同窓会入会式が行われました

開校10周年を契機に同窓会組織が整備され、昨日、同窓会入会式が行われました。

入会式では第1回卒業生で同窓会長の豊巻雄平さんが挨拶に立ち、続いて、新入会員挨拶として、第11回卒業生代表の山田珠生さんが挨拶を行いました。

今後、同窓会活動が活性化するよう、卒業年次を超えて力を合わせてほしいと思います。

